

総務常任委員会会議録

1 開会日時 令和6年5月16日（木）午前10時0分

2 閉会日時 令和6年5月16日（木）午前11時13分

3 会議場所 委員会室

4 出席委員

3 番 安藤 利博君	8 番 大口 浩志君	12 番 松田 勲君
15 番 下山 哲司君	16 番 実盛 祥五君	17 番 佐藤 武君

5 欠席委員

なし

6 説明のために出席した者

総合政策部長 倉本 貴博君	総務部長 戸川 邦彦君
財務部長 杉原 洋二君	赤坂支所長兼 市民生活課長 小坂 憲広君
熊山支所長兼 市民生活課長 稲生真由美君	吉井支所長兼 市民生活課長 中務 浩行君
消防長 檜原 秀幸君	総合政策部参与 岡本 和典君
秘書広報課長 小引 千賀君	政策推進課長 山崎 和枝君
総務課長 花谷 晋一君	くらし安全課長 正盛 充敏君
管財課長 大窄 暢毅君	税務課長 田渕 忠則君
消防総務課長 金光 正浩君	コンプライアンス 推進室参事 眞崎 力平君

7 事務局職員出席者

議会事務局長 原田 光治君	主任 平尾 和也君
---------------	-----------

8 協議事項 1) 事業の進捗状況について

2) その他

午前10時0分 開会

○委員長（大口浩志君） ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

まず、新年度初めての委員会ですので、異動のあった執行部の方から自己紹介をお願いしたいと思います。

○消防長（檜原秀幸君） 4月1日より消防長を拝命いたしました檜原と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○消防総務課長（金光正浩君） 4月から消防総務課長を拝命されました金光と申します。よろしくお願いいたします。

○コンプライアンス推進室参事（眞崎力平君） このたび3月14日付で岡山県警から出向で参りました眞崎力平と申します。右も左も分かりませんが、よろしくお願いいたします。

○議会事務局長（原田光治君） 4月から議会事務局長になりました原田といいます。よろしくお願いします。

○委員長（大口浩志君） ありがとうございます。

眞崎参事については、ありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。

〔コンプライアンス推進室参事 眞崎力平君 退場〕

○委員長（大口浩志君） それでは、これから協議事項に入ります。

本日の進め方ですが、まず事業の進捗状況について一括して説明していただき、質疑を一括して受けさせていただきます。次に、その他の6月議会提出予定議案について同様にさせていただきます。次に、その他のその他について同様にさせていただきますが、そのように進めてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、協議事項1番目、事業の進捗状況について、総合政策部から順番に説明をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） それでは、総合政策部の資料をお開きください。

2ページ目でございます。

事業の進捗状況、(1)第3次赤磐市総合計画の策定についてでございます。

趣旨といたしまして、現行の第2次赤磐市総合計画の計画期間が令和6年度をもって満了することから、第3次赤磐市総合計画の策定を現在進めております。

計画の期間につきましては、総合計画の中で、基本構想については8年間、令和7年から令和14年まで、また基本計画は前期を4年、後期を4年ということで、中間年に見直しを行っていきたいと考えております。

策定スケジュールについては、予定でございますが、令和6年5月25日、市民との対話、い

わゆるワークショップによりまして意見聴取を行いたいと考えております。引き続き、6月29日も同様に意見聴取を行う予定です。それ以降の開催日については、調整を図っているところでございます。8月頃から赤磐市まちづくり審議会を随時開催させていただこうと考えております。10月頃には基本構想の素案の策定を行い、12月には基本計画の素案の作成をしていきたいと思っております。それらを受けまして、令和7年3月頃にパブリックコメントを実施いたしまして、令和7年6月に計画案を議会定例会に上程させていただこうと考えております。

なお、策定期間中につきましては、総務常任委員会をはじめ、各常任委員会及びまちづくり調査特別委員会において、必要に応じ経過説明、計画案の内容の御説明をしていこうと考えております。

以上です。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） それでは、くらし安全課から、能登半島被災地支援、七尾市テントプロジェクトについて御報告をさせていただきます。

総務部資料2ページを御覧ください。

この活動は、令和6年3月25日月曜日から、能登半島地震被災地支援の一環として、被災地である石川県七尾市において、七尾市ボランティアセンターと連携し、ボランティアが長時間活動できるよう、テント村の運営を通じ、早期復興への加速を後押しすることを目的に実施しております。

登山家の野口健さんが代表を務める認定NPO法人ピーク・エイドと連携する7市が協力して運営に当たっており、5月15日現在で延べ4,155人のボランティアが871世帯からの要望、要請等を受け、災害ごみの搬出等、様々なボランティアの活動をしております。

今後につきましては、被災地のニーズ等を考慮し、5月29日までの運営をしていく予定としております。

また、5月29日の閉村に伴い、赤磐市、総社市合同の報告会を5月22日水曜日に総社市役所にて開催し、同時にメディア等への発信を行う予定としておりますので、御報告させていただきます。

3ページにテント村の設置状況や活動状況等の写真を添付しておりますので、御覧ください。

総務部からの説明は以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） それでは続きまして、財務部管財課から事業の進捗状況について御報告させていただきます。

資料替わりまして、財務部資料の2ページをお願いいたします。

まず、(1)赤磐市役所本庁舎等整備事業についてでございます。

本庁舎等改修工事につきましては、この4月末で全体工事の約55%の進捗となっております。現在、1期に続きまして2期工事、並行して中央公民館、山陽保健センターの工事に取りかかっておりまして、それぞれお示しします完工目標で進めております。

どうしても、耐震改修工事ということから、既存壁の解体、地面の掘削など、工事の音、こういったもので来庁者の方々には御迷惑をおかけしております。引き続き、御理解の上、御容赦いただき、御協力をお願いしたいと考えております。

なお、令和4年度から実施しております改修工事、こちらにつきまして工事を進めていくに当たり、物価高騰に伴ういわゆるインフレスライドでありますとか、不可視の部分に対する対応といった設計と現場の不一致から来るものなど、設計の変更を現段階でも相当見込んでおるところでございます。変更契約の締結につきましては、議会の議決を要することになります。改めて変更項目それから額、そういったものにつきまして当委員会でも御説明させていただくことと考えております。

次に、(2)桜が丘いきいき交流センターE V用急速充電器更新等についてでございます。

この3月に工事を完成し、4月7日の日曜日、桜が丘の東西さくら祭りの日にセレモニーを開催し、供用開始とさせていただいております。この日から少したちまして、地絡を検出する基盤、電源装置の初期エラーがございまして、一時的に利用者の方に御迷惑をおかけしたということがありました。しかし、コールセンター等の活用によりまして、現在は順調に稼働しておるところでございます。今後も、さらに利用状況等を注視しながら、安全かつ安定的な機器の稼働に努めてまいりたいと考えております。

なお、今後の予定としまして、こういった利用状況を解析それから蓄積しながら、以前当委員会でも御説明させていただいております利用者負担、そちらの制度の構築に向けて検討も併せて行ってまいります。現段階では、9月の議会定例会に条例案を提出させていただき、議決いただきましたら、一定の期間を確保、周知を十分に行った上で、来年1月頃からの制度運用を今のところ考えております。また、利用料金の徴収方法や額、それから制度の詳細の案につきましては、この委員会でも御意見等を頂戴しながら進めてまいりたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

管財課、財務部からは以上です。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 消防総務課からは、各地区施設整備事業の進捗状況について5つの事業を報告させていただきます。

最初に、消防ポンプ自動車更新事業についてでございます。

赤坂、下分地区の33年経過した消防団ポンプ自動車を更新するものです。契約は6月中旬予定ですが、車両の納品が遅れるため、緊急車両登録を済ませ、区への納車は来年3月の予定となっております。

続きまして、小型動力ポンプ更新事業でございます。

赤坂、多賀地区の29年経過し、エンジン不調が続いている可搬ポンプを更新するものでございます。納品は今年10月予定です。

次に、消防機庫修繕事業でございます。

熊山、千駄地区、釣井地区の申請により、消防機庫雨漏りの修繕を実施させていただきます。

続いて、防火水槽修繕事業でございます。

該当地区は山陽、岩田地区、赤坂、東軽部地区で、防火水槽からの漏水と土砂堆積により水量が確保できないための修繕を行うものです。完成予定は7月中旬で、修繕費は岩田地区が132万8,000円で、東軽部地区が136万4,000円です。

最後に、標準消防用機械器具整備につきまして、山陽4地区、赤坂3地区、熊山6地区、吉井4地区で、6月中旬の発注で年内納品予定です。4地区合わせて396万8,000円の事業を進めさせていただきます。

消防本部からは以上でございます。

○委員長（大口浩志君） ありがとうございます。

事業の進捗状況につきまして説明が終わりました。

それでは、ただいまの説明について質疑ございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） それぞれの部署ごとでいいんですか。

○委員長（大口浩志君） もう先ほどの説明があった範囲を全てで結構です。

○委員（佐藤 武君） まず、総合計画から入りたいと思いますけれども、総合計画を順次作成するということですが、今重要案件であります立地適正化計画という部分で、この立地適正化計画の動きによって総合計画も大きく変わってくるのではないかなと思っております。まして、ここに米印でまちづくり調査特別委員会にも順次説明をするというただし書を書いておりますので、そのあたりの立地適正化計画との調整というか、それはなかなか難しいと思うんですが、このスケジュールからすれば、どういうふうに判断をされますか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 立地適正化計画につきましては、現在の計画が令和6年4月1日から施行が開始されていると認識しております。ですが、立地適正化計画だけでなく、い

ろんな計画がございますので、そういう計画の進捗状況等も当然踏まえながら総合計画もつくり上げていきたいとは考えておりますが、基本的には総合計画が赤磐市の中の最上位計画でございますので、今後8年どういうふうにまちづくりを進めていったらいいのかをまず掲げていくことにはなっておりません。ということで、いろんな各種計画等の動き等も当然注視しながら作成をしていこうと考えております。

なお、いろんな委員会には、必要に応じて御報告を随時させていただこうと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ありがとうございます。

計画策定、非常に御苦労があると思いますが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

次行つていいですか。

○委員長（大口浩志君） はい、どうぞ。

○委員（佐藤 武君） それでは、皆さんの前で先にやらせていただきますけれども、今度はテントプロジェクトです。

テントプロジェクトで、非常にいい取組だと私は思っているんですが、今回総社市で報告会をされるという説明がありましたけれども、このテントプロジェクトについては、報道が非常になされておりましたけれども、前にもちょっと苦言を申し上げたんですけれども、総社市、赤磐市合同で出席しているにもかかわらず、赤磐市のあの字も出なかったという部分があったかなという思いがあります。今度の報告会についても、総社市で開催ですけれども、ぜひとも赤磐市も実行したんだということをアピールしていただかないといけないと思っておりますので、そのあたりの御見解をお願いします。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 御指摘のとおり、前回それから今までの発信等について、なかなか赤磐市の名前が少なかったという認識を持っているのも事実でございます。ただ、同じように情報発信、同じように情報提供させていただいた中で、報道機関がどこを切り取るか、どこの部分を参照するか、私どもがコントロールするのが非常に難しい部分でもありますので、ある一定の御理解をいただけたらと思ひます。しっかり報道機関等へのお願いは今までもしてきておりますし、今後も続けていくつもりではおりますので、御理解よろしくお願ひいたします。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

ほかにどなたかございませんでしょうか。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 主な設計変更等で3項目が上がったんですけど、インフレスライド、この内容についてどういうやり方をやるのか説明をお願いしたい。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 設計変更に伴う変更契約の今後の見通し、スケジュール、その辺の話だと思います。

変更契約につきましては、市の設計変更のガイドラインに基づきまして、工事打合せ簿で実際現場は進んでおります。その設計変更の内容をまとめまして、金額それから項目、全て当初の設計との差を出しまして、それを契約変更するということで、9月の議会、もしくは遅くとも12月にはこういう金額の変更になりますという議決を諮る予定にさせていただいております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 小規模の事業なら簡単な設計変更、すぐ見通せるんじゃないだろうけど、設計事務所に任せ切りになるのか、それとも第三者が入るのか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） こちら、施工監理につきましては、設計会社へ委託しております。ただ、丸投げではなくて、市もきちっと内容精査については、複数人、担当も含め、私も含め、財務部長も含め、行っておるところでございます。そうやって進めていきたいと考えております。

以上です。

○委員（下山哲司君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 単価等の見据え方があるじゃない。それが、役場の職員では言うちゃあ悪いんじゃないけど、見切れん部分じゃろうと思うんで、そういう部分に関してはどういう考え方でおるのか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 単価等につきましても、市場価格、そういったところの調査も含めて、当然技術的な職員もおりますので、そういったところの意見も聞きながら、詳細に、きちっと適正に進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 大体規模的にはどのくらいの金額になるんですか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） まだ工事が残っておりますので確定的なところはお答えできませんが、現在の見込みでは全体工事費の約2割から2割弱程度、それぐらいと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですね。

○委員（下山哲司君） はい、分かりました。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 先ほど下山委員が言われたのは本体の話でございますが、私が思うにはせっかく、今ここのようにすけど、かなり思った以上にきれいになって、市民の方も何か変わったなと言うて喜んでくださってはいるんですけど、市民の方から御指摘があって、特に市民の方は1階の関係が多いんですけど、職員の机は仕方ないにしても、椅子がもうぼろぼろでめくれているという御指摘をいただきまして、私もたまたまそういうのを聞いた後に座って待ちようたらいろんな物が見えて、いろいろきれいになったんですけど、机は前のままなんかなんかと思いつつも、でも仕方ねえかなんかと思いつつも椅子を見たら、もうめくれとんです。あれは、市民から見ても何じゃこりゃという感じを受けたみたいです。

だから、経費がかなり抑えられてるというのは分かるんですけど、でも当分これで替えることがないと思うんです。だから、削るところは削るんだけど、必要なところは、これは管財課になるんかどうかわかりませんが、そういったことか、ここの3階にしても、ここはきれいにしとるけど、廊下途中のじゅうたんは前のままでめくれた状態で、一応補修をされてるけど、当分替えることはないのに変なところでけちってるなというのは感じるんです。議場にしてみても、椅子は替わるかなとちょっと期待はしたけど替わらなかったんで、仕方ないかなんかと思いつつも、でも職員は毎日座ってるんですし、モチベーションがせっかく上がるところで何か下がってしまう、そういったことも含めて市民サービスにも影響すると思うんです。いろんなテーブルとか椅子とかを市民の方が座るとはよくなったと思うんですけど、そこに1日座ってされる職員のことを思うとどうかなんかと思いつつも、それを見た市民の方にも御指摘いただいたんで、その辺はどんなんでしょうか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長、お答えいただける範囲でお願いします。

○管財課長（大窄暢毅君） ありがとうございます。

資料③の3つ目でございます。

設計図書の照査範囲を超える仕様変更、こちらが、いわゆるそういう御要望でありますとか
実際現場との取り合わせ、こういったものを考慮した上で、よりよいもの、改善するもの、そ
ういったものに対する変更になっております。そういったところで、当然予算がある中の話で
ございますが、効果的なところに投下できるように進めてまいりたいと思います。またそうい
う御意見も集めながら工事を進めてまいりたいと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。

その下のいきいき交流センターのEVの急速充電器でございますが、先ほど報告があったん
でいいんですけど、これは市民の方からもせっかくついたのに止まってどうなっとなんてとい
うお叱りも受けた後に見たらまた再開になっとなんてよかったんですけど、システムの問題だ
ったんですか。それからは起こってないんでしょうか。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 先ほど御説明しましたとおり、修繕内容につきましては、地絡を
検知する機器、そこに電気を送る電源の装置がありますが、それに初期エラーが出たというこ
とで、すぐ新品のものに交換をしております。その機器も、なぜそれが起きたのかというのを
今メーカーの工場で解析しております。その辺の解析も含めながらやっていきたいと考えてお
りまして、その後は順調になっております。あと、一部機器の電源を落とした、要はエンジ
ンを切った中で充電をという順番的なそういう取扱いのエラーというものもあったそうで、その
辺は表示もいろいろ変えながら、工夫をしながら進めておりまして、今のところは順調に稼働
しております。今後も、そういうところに努めていきたいと考えております。

以上です。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ありがとうございます。

利用者も、見る限りはあれから結構止まって充電されてる様子を見てるんで、結構利用され
てるなというのは分かるんですけど、ここに一応書いてありますけど、有料になるのは致し方
ないと私も思いますが、もうちょっと早めに掲示して、何月頃にこの予定ですか、何かもう
少し早めにされたほうがいいんじゃないかなと、9月に条例提出ということですから、提出が

決まったらすぐにしていかなないと、使う人にとっては当てにされるとも思いますんで、その辺をよろしくお願いします。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 以前よりその辺の御指摘をいただいておりますので、重々思っておりまして、現地で使う方が一番でございますので、現地での掲示それからホームページ、広報はもちろん、その他いろいろ工夫して周知を図っていきたいと考えております。ありがとうございます。

○委員長（大口浩志君） よろしいか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 消防本部で教えていただきたいと思いますのですが、資料3ページの標準消防用機械器具整備事業で、山陽、桜が丘西9丁目とあるんで、ぜひ教えていただきたいんですが、ホース等格納箱の新規設置だろうと思うんですが、桜が丘だけ聞くのはどうかとは思いますが、設置場所はどこなのか、それからホースの新規設置については、今まではそれぞれの町内で設置するという説明じゃなかったかなと思うんですが、そのあたりはどんなんでしょうか。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） まず、格納箱の場所については、現在手元の資料にありませんので、また後日詳細な場所はお伝えしてもよろしいでしょうか。

また、65ミリホースにあっては、標準機械器具の中にホースの項目がございますので、各地区で検討していただき、また消防団と協力、話をして、必要なホースの整備を今回の補助事業で実施していければと考えています。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ありがとうございます。

御承知のとおり、格納箱それからホースについては、町内会にしてもかなりの数があるわけでありまして、新規に設置、改修となると、要望を上げれば改修していただけるのか、それから、予算的にどれくらいになるのかも併せて教えていただけますか。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） ホース格納箱の単価ですが、大きさにもよるのですが、3万円程度になっています。

また、随時地区からの要望によって格納箱の更新、新設等行っております。また、市民からの要望により、危険があるような故障または設置しているのが外れているような場合では、消防本部の施設修繕費で緊急的に対応させていただいております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 消防のホースの件ですけど、これは地区で管理してるということですけど、現実には火災が起こった場合にホースから漏水とかがあったら困るんで、地区の管理だということですけど、今回もこれは17地区ぐらいから要望が上がってますけど、地区によってはそういったことをずっとしっかり管理されてるところと、人の関係があってそこまで手が回ってないところもあるかと思うんです。その辺は、消防本部でどこの地区はいつ頃更新してるというデータとかを持っておいて、いかにもこれはそろそろ怪しいんじゃないかというところは地区に点検してもらうとか、実際に火災のときに使い物にならんのか困るんで、大変だとは思いますが、その辺を把握しとくということは難しいでしょうか。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 現状で、各地区のホースであったり格納箱であったりというのは、地区の消防団の方に年1回程度確認はさせていただいております。その中で、地区と相談し、必要なものは要望するよにということで進めてまいっております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） そうやっていただければありがたいんですけど、例えば桜が丘西は消防団がないですね。そういったところはこういった形で点検されてる、町内会がそこまでやられているかどうかというのが、私把握はしてませんが、各地区がそういったところまで行き渡っておればいいんですけど、その辺分かれば。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 先ほどの件ですが、何年にこういう要望があったというデー

タはございますが、こちらで取りまとめたもの、改めて消防職員で各地区を回って整備したものはございません。

また、桜が丘西地区にあつては、消防団がいらっしゃらないので、今後の検討課題として幾らかそういった把握にも努めてまいりたいと思っております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、ないようですので、進捗状況につきましては質疑をここで終わらせていただきます。

続いて、協議事項２番目、その他の６月議会提出予定議案について、総合政策部から順番に説明をお願いいたします。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 総合政策部の資料をお開きください。

３ページからでございます。

２、その他といたしまして、令和６年６月議会定例会提出予定議案について、まず(1)令和６年度赤磐市一般会計補正予算（第１号）についてでございます。

政策推進課の関係分といたしましては、歳入を１件予定しておりまして、内訳に書いておりますとおり、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金６億１,９０６万円を予算計上させていただきたいと考えております。こちらの歳出については、それぞれの関係部署で計上する予定でございまして、定額減税補足給付金事業及び住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業に係る事業費でございます。

続きまして、(2)令和６年度赤磐市一般会計補正予算（第２号）についてでございます。

債務負担行為の１件追加をお願いしたいと考えております。熊山地域を運行しております市民バスの豊田・熊山線で活用させていただいている車両のリースアップが参りますので、令和７年度から令和１１年度までの５年間、５００万円限度で計上させていただきたいと考えております。

続きまして、歳入でございます。

総務費補助金に、地域公共交通確保維持改善事業補助金といたしまして２,３４４万６,０００円を計上させていただきたいと考えております。これに関連します歳出が、４ページ目でございます。生活交通対策事業に２,２３２万円を計上させていただきたいと思っております。こちらは、デマンド交通等のデジタル化の推進、いわゆるＡＩシステム等の導入、それから人材育成事業といたしまして、職員も含めいろんな方々、事業者も含め、公共交通に対する知見等を育むた

めの研修会等の開催経費を計上させていただく予定にしております。

以上です。

○くらし安全課長（正盛充敏君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 正盛課長。

○くらし安全課長（正盛充敏君） それでは、令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第2号）についての概要といたしまして、総務部資料4ページを御覧ください。

くらし安全課の補正予算は、歳入1件、歳出1件を予定しております。

学校・家庭・地域連携協力推進事業につきましては、文部科学省が実施する学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金を活用し、当初予算と併用して事業の推進を図るものです。このたびこの補助金の内定を受けましたので、交通安全の物品や啓発用品等々の推進を図りながら事業を進めていくための補正予算を計上させていただいております。

くらし安全課からは以上です。

○総務課長（花谷晋一君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 花谷課長。

○総務課長（花谷晋一君） それでは、総務部資料、引き続き4ページを御覧ください。

(2) 地方自治法第180条の規定による市長の専決処分の報告について説明をいたします。

この専決処分につきましては、公用車の事故により相手方に生じた損害金を賠償したものでございます。発生日時は、今年2月26日月曜日午後2時5分頃、仁美農村振興センター、仁堀出張所といったほうが分かりやすいかと思います、仁堀出張所の駐車場について、職員が公用車を運転中、方向転換をしようとして後退した際に、後方目視不注意によりまして、駐車していた相手方車両の左フロントドアに接触して損害を与えたものでございます。これによりまして、相手方の赤磐市男性に生じた損害金22万2,200円を賠償したもので、事故の責任割合につきましては市が10割、全額保険対応とさせていただいたところでございます。職員一同、初心に立ち返りまして、さらなる安全運転に心がけてまいる所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

総務課からの説明は以上です。

以上で総務部の説明を終わります。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） 財務部資料3ページを御覧ください。

税務課からは、条例改正2件について3月29日に専決処分を行いましたので、御報告させていただきます。

(1) 赤磐市税条例の一部を改正する条例についてですが、令和6年度税制改正に伴い地方税法等の一部を改正する法律が本年3月29日に可決され、4月1日から施行されることに伴いま

して、赤磐市税条例の一部を改正したものです。施行日は、令和6年4月1日です。主な改正点といたしまして、個人住民税の定額減税です。令和6年度分の個人住民税所得割額から納税者及び配偶者を含めた扶養家族1人につき1万円の減税を実施するものです。この措置による住民税の減収分については、全額国費で補填されます。

続きまして、(2)赤磐市地方活力向上地域に係る固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例についてです。

地方再生法第17条の6の地方公共団体等を定める省令の一部が改正され、固定資産税の特例対象となる地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定期間が2年間延長されたことに伴いまして、市条例の適用期間を2年延長したものです。施行日は、令和6年4月1日です。地方活力向上地域等特定業務施設整備計画の認定につきましては、都道府県が地方再生計画に基づき事業者からの整備計画の申請により認定を行うもので、東京23区から本社機能の移転や拡充により施設整備される事業が対象となります。この制度は、平成27年度より施行されていますが、赤磐市において該当事案はございません。

引き続きまして、(3)令和6年度赤磐市一般会計補正予算（第1号）について御説明いたします。

定額減税補足給付金事業ですが、国の物価高騰対策として定額減税を補足する給付として、定額減税し切れないと見込まれる方に対し、その差額を調整の上、給付するものです。全額国費での対応となります。

税務課からは以上です。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） それでは、財務部資料の4ページをお願いいたします。

財政課からです。

歳入といたしまして、今回の補正予算に伴う財政調整基金の繰入金を財源調整として行うものでございます。

財政課からは以上です。

○管財課長（大窄暢毅君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 大窄課長。

○管財課長（大窄暢毅君） 同じく歳入でございます。

熊山保健福祉総合センターの内部改修それから空調設備改修、こちらの改修を行うということから、7,600万円を歳入で増額させていただくものでございます。

財務部からの説明は以上です。

○委員長（大口浩志君） それでは、6月提出予定議案について各部の説明が終わりました。

ただいまの説明について質疑はございませんか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 財務部で教えてください。

合併特例事業債、7,600万円の借入れといいますか、予算がつくということですが、前回私も合併特例債絡みの事業はしないんですかねという趣旨の質問をしたかなと思うんですが、これは新規の特例事業債ということですが、そもそもこの完成時期というのは令和7年3月末ですか、これにはもう当てはまらないという理解でいいのでしょうか。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） 合併特例債の事業につきましては、原則的に完成は令和7年3月31日でございます。しかしながら、事業を進めていく上で、例外的に繰越しが認められるところまでは国でも運用がなされておりますので、逆に言えば令和8年3月31日までは発行事業として可能であるという認識で結構かと思います。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 今のは1年間の猶予があるという理解をしたんですが、ということは庁舎の改修事業も1年間の延長がひょっとしたら認められるという理解でいいんですか。

○財務部長（杉原洋二君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 杉原部長。

○財務部長（杉原洋二君） 原則的には令和7年3月31日が完成です。繰越しありきではございませんが、庁舎につきましては今年度末で完成ということを一応うたっております。先ほど課長も説明させていただきましたように、今年度末で事業の推進を図っているところでございます。今後不測の事態等がありましたら繰越しの可能性はあるとも、今年度末を目指して今事業は進めているところでございます。

以上です。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 極力当初の計画どおりの事業遂行でお願いしたいと思っております。

それからもう一つ、事故の件でお尋ねしたいと思いますが、事故の写真を見る限り、この相手方の車両がかなりへこんでる写真ですよね。これは、かなりのスピードでバックしない、ぶつからない限りこれだけ引っ込むことはないと思うんですが、この状況では後方目視不注意によりということですが、かなりのスピードを出して、後方不注意どころじゃないと思うんですが、その辺の職員といいますか、どういう運転をしていたのかという聞き取りはされて

るんでしょうか。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小坂赤坂支所長。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 事故につきましては、こちらに書いてありますとおり、仁美農村振興センターの駐車場でございます。相手方の車両ですが、駐車場に止めてある状態で、職員が出るときにバックで、あまりそんな駐車場内なのでスピードは出しておりません。ただ、バックでちょうど軽トラックの角で接触しておりますので、こういった損害になっております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 軽トラのほうがごついという説明がありましたけれども、これは駐車中ですよ、相手方は。だから、最初から車が止まっているというのは十分分かったはずだと思いますが、だから結構損害金も大きいですよ。だから、職員の安全運転の意識づけというか、重ねての注意をしていただくようお願いしたいと思います。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小坂赤坂支所長。

○赤坂支所長兼市民生活課長（小坂憲広君） 今回の事故につきましては、相手方にもおわびをさせていただいております。今回の事故を受けまして、職域内におきましても、私を含めて、当事者もそれ以外の職員につきましても、改めて公私問わず交通安全には安全な、慎重な運転に努めるよう強く指導しておるところでございます。よろしくお願いいたします。

○委員（佐藤 武君） 結構です。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 税務課の条例の件ですけど、具体的に1人1万円の減税というのはどういった形で減税になるんですか。給料の明細から1万円分引くんか、その辺が扶養家族も含めてですけど、具体的な形で、市民に分かる形でいうとどういった形になるのか教えていただきたいです。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） 給与から住民税を天引きされる方に対しましては、こちらで減税された金額を給与事業者に送りまして、6月については減税の対象となる方は天引きを行いま

せん。7月以降に11回で一旦等分で減税したものを引いていく形になります。それから、普通徴収で納付書が送られてくる方につきましては、第1期からその減税分を引いていく形で、通常毎年送られてくる4期の金額から1期から引いていく形になります。1期で引けなかったら、2期分に対しても引いていく。なので、1期分はゼロという方もいらっしゃるかもしれませんが。それから、年金から引かれる年金特徴の方については、4月、6月、8月分については前年度の引く金額をそのまま引き継いで行うようになりますので、年金の方は10月から天引きする形になっております。

以上でございます。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） いろいろ場合によって引き方が違うんだと思うんですけど、その辺は見た人が分かる形になるのでしょうか。何かそういった、こうなりますよという案内とかはあるのでしょうか。分からなかったというよりは分かるような形になるのかなと思うんですけど。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） 一応、納付書を発行する際に定額減税のチラシを入れさせてもらいます。それから、納付書には既に減税になった数字が上がっておりますので、1期がちょっと2期より少ないなとかという感覚を持たれるかもしれません。事業所に対しても、そのような形でチラシを同封しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 要は、市民の方が、これは国の政策ですけど、給与をもらってる方が理解をしやすいのかしにくいのか、分からずにそのままいくんじゃねんかという気がするんです。その辺は大丈夫でしょうか。

○税務課長（田淵忠則君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 田淵課長。

○税務課長（田淵忠則君） 一応チラシ等の案内は同封させていただきますので、それを見ていただければ御理解ができるのかなと思っております。よろしくお願いします。

○委員（松田 勲君） 分かりました。

○委員長（大口浩志君） ほかにどなたかございませんか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、これでその他の6月議会提出予定議案については質疑を

終わりたいと思います。

続いて、その他のその他について、何かございましたらよろしくお願いいたします。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） それでは、その他の御報告ということで3点ほど御報告させていただきたいと思います。

まず、1点目についてです。

支所の在り方それから機能について、地域の方のお考えや御意見をお聞きしまして、今後の方向性検討の参考にさせていただきたいと考えております。そういった上で、地区の代表の方、区長方に対しまして、話を今年度早々にお聞きしたいと考えております。その手法等につきましても、また区長それから町内会を含めまして検討させていただきたいと考えております。

それから、2点目になります。

令和6年度から福島県浪江町と、職員災害派遣1名に加えて、職員1名の人事交流を始めております。その旨御報告させていただきます。これにつきましては、令和3年3月8日付で、浪江町と地域活性化包括連携協定による人材育成を目的としております。浪江町からの派遣職員は、総合政策部政策推進課政策企画班に配属となっております。赤磐市からの派遣職員2名につきましては、それぞれ浪江駅前開発事業や水素エネルギー事業などを担当しております。

3点目です。

駐在所の再編についてでございます。

岡山県警では、駐在所の再編としまして、桜が丘駐在所と可真駐在所を一つにしまして交番化する方向で意思決定がなされまして、適地等の調整を行っているとの報告いただきました。交番化につきましては、地域からの要望も多く、市としましても協力していきたいと考えております。

以上、総務部からの御報告です。

○委員長（大口浩志君） 今の御説明について何か質疑はございますでしょうか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 1つ目の支所の在り方について伺いますんですけど、市としてこうしていきたいとか何かそういうのがあってのことでしょうか、その辺分かれば教えてください。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 市の方向性を決めるに当たって、地域の声が大事かと考えております。まず地域の声もお聞きした上で、市の方向性の参考にさせていただこうと考えております。

以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかに何かございますでしょうか。

○副委員長（安藤利博君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 桜が丘駐在所の件ですけど、これ実は今日報告があったんでいいんですけど、もしなかったらお尋ねしようかなと思ってたんです。これは、赤磐警察署から町内会には2月に報告があったんです。皆さん非常に関心が高いところなんで、赤磐警察署から市役所にはいつ頃こういった話があったんでしょうか。もうちょっと早く教えてはいただけなかったのかなというのがある。町内会には、私たまたま今年地区の役員をしてるものですから、連合からの報告があるんです。これで、桜が丘駐在所と可真駐在所を統合して桜が丘交番に格上げが正式に議論され、令和6年度中に県議会で承認後、候補地の選定、令和7年度中には交番完成予定というのが連合町内会に報告があったんです。だから、もっと早く教えていただければよかったかなと思うんですが、いかがですか。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） この岡山県警の動向につきましては、県警も慎重に地域の整合性を図っているところでございます。市としましては、いろいろ警察と調整をしながら進めているものでございます。正式にこう決まりましたと発表するものでは今の段階ではございません。一応意思的に岡山県警がそういう意向で調整をされていると、状況を市としては報告を受けているという状況でございます。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） もちろんこれは市がするわけじゃなくて県警がやられることですから、確定なことを御報告ということではなくて、県警でこういったことをやってます、進んでますよということぐらいをもっと早く教えていただければよかったかなということです。

○委員長（大口浩志君） 要望ということで。

○副委員長（安藤利博君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにございませんか。

下山委員。

○委員（下山哲司君） 警察の話になったから警察の話をせにゃいけんのじゃけど、今の安藤副委員長の言われるのもしかりですが、吉井地域の駐在所が移ったんですが、移った先が早う言えば仁美地区、佐伯北地区、城南地区と分かれて駐在所があったのが、村でいえば周匝村から山方村へ移っとんよな。周匝村には派出所と駐在所があった。今派出所も駐在所もなしでゼロ。山方村へ駐在所が移った。こういう歴史文化も分からん警察の人がやられとることで、それで駐在所の子に聞いたんですが、どういうことで決まったんならと言うたら、本部から土地を探せと言われたから探したら、ほんならそれでいいってぽんとトップダウンで決めたんかと言うたら、そういうことになっとんですと言うて、そねんことしとったらおめえこけえおられんようになるかと言うたら、三月もせん間におらんようになった、その駐在が替わって。周匝の人に言いましたら、警察というのは勝手にそねんにすんだったら、わしら警察の協力は今後せんぞというぐらい区長連中は怒られとる。

そういうことが、行政が関わらにゃいけんことに行政が関わられてないんじゃな。じゃから、前だったら旧吉井町なら吉井町と警察が多少なりとも話をしてするんじゃけど、今は全くゼロの状態、何でそういうことになっとんか、市がそういうことに関心がねえからできんのか、それとも市の言うことやこ受け付けんのじゃという警察の対応か、その辺だけが聞きたい。

○委員長（大口浩志君） どなたか御答弁できますか。

岡山県及び岡山県警のお話なのでなかなか答弁がしにくい案件かなとも思いますけど。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 基本的には、きちっと連携をしていく部分が大きいのかなと思っています。ただ、一つ言えますことは、赤磐市で決定できる項目がなかなか少ないというところもございます。その中で、いろいろ市の意向としては、当然のことながら岡山県警へ伝えていくべきというところで、警察署のことにつきましても要望などさせていただいているところでございます。市からとしましては、警察へ要望を伝えていくという姿勢でございます。

以上です。

○委員長（大口浩志君） 下山委員。

○委員（下山哲司君） 警察署となれば、こりゃまた岡山県で数少ねえあれで、前に赤磐警察署の改修を聞いたときに、下山さん、6番目ですよという言う。警察署一つやると言うたら10年に1遍ぐれえの単位じゃから、6番目というたら60年先なん。俺らは生きとらんがという話をしたんじゃけど、そういうレベルのところで、今度は派出所、駐在所というたら、これはそれよりもっと近いんじゃから、そういうところに行政、向こうも警察行政じゃから、同じ県の中にあって県の指揮下にあるあれなんじゃけん、何ぼ警視庁がトップじゃというたところで、県警は県警じゃから、その辺はもう少し行政がきちっと関わらにゃいけんし話もできにゃいけんので、そういう市長会なら市長会で連携をして、こういうことでは困るんじゃということで、

一市が言うたって駄目じゃ。

じゃから、例え話でいうたら、真備町の水害が起きた後に愛媛県と岡山県で同時に同じような災害が起きて、どうしてそういう災害が起きたんならというたら、ダムの放流で起きた災害じゃ、どっちも。真備町だって、災害が起きたところから上に20基あるんじゃからな、ダムが。そのダムが一齐に放流したらそりゃ水害が起きるわ。じゃから、ダムというのはある程度防災ダム、今熊本県人吉市の奥に何十年もかかっとなができなんだからもうやろうかという話になりようたけど、何でかというとな吉市が全部つかったから。人吉市は、あれは初めてつかったんじゃない、何回もつかつとる、あそこは。

じゃから、そういうことにおいて関心を持つか持たんかという話じゃ。行政が警察は警察じゃというんじゃなしに、一貫なんじゃから、行政でも。じゃから、その辺にもっとしっかり行政としての関心を、一市でするんじゃなしに、市長会できちっと話をして、市長会で申入れするとか、そういうことができようらのじゃと思う。僕が市長じゃったらそうするよ。

だって、今の真備町のあれでも、高梁川、旭川、吉井川、放流協定書ができたんじゃから。それは何でならというたら、何十年も僕は関わっとなじゃけどできんのんじゃというて、今の知事はそねんなのは知らんから下山さん教えてくれ、どういうことならというてひもといえずと何十年の話をしてあげたんよ。じゃから、岡山県だけじゃねんじゃ、ちょうど愛媛県も一緒なんじゃから、愛媛県知事と2人でタッグを組んで国と協議をやったらええんじゃないですかというたらできたが、何十年もできなんだ。そういう姿勢があるかねえかなんよ。

じゃから、そういう警察についても、派出所や駐在所は一市だけじゃねんじゃから、そういういろんなことをやってほしいなと思うから言よんで、この前もじゃから議会の途中で行ってけんかして帰ったけど、あの後課長が何回も電話してこられた。じゃから、そうやって努力をせなんだからそういうことはできんのんじゃと思う。じゃから、その辺について答弁を。

○総務部長（戸川邦彦君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 戸川部長。

○総務部長（戸川邦彦君） 決して赤磐市が関心がないわけでもないですし、今回の桜が丘の件につきましても、市としてはこういう御要望をさせていただいているところでございます。決して関心がないわけでもないです。それは御理解いただきたいと思います。

その上で、県内の他自治体とタッグを組んで事を進めていったらいかかということに関しましては、貴重な御意見としてお伺いさせていただいております。今後検討していきたいと思っております。よろしくお願いします。

○委員長（大口浩志君） 今回の件は、先ほど下山委員もおっしゃっておられたように、吉井の駐在所の件であずっていただいた結果が、地元へももう情報が下りるということでございますし、早め早めに岡山県も情報提供をするような意識づけになっているという前向きな捉え方でこの件については収めていただいて、ほかに何かございませんでしょうか。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） それでは、ほかに何か執行部、委員からありましたら、御発言をお願いいたします。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） 次第が前後してすみません。

先ほど事業進捗状況について御質問がありました今年度設置予定のホース格納箱の場所についてですが、設置する地区の資料がありましたので、御報告させていただいてよろしいでしょうか。

○委員長（大口浩志君） はい、お願いします。

○消防総務課長（金光正浩君） それでは、説明させていただきます。

山陽、穂崎地区でホース格納箱が5か所、桜が丘西9丁目が2か所、和田地区が1か所、熊山、桜が丘東地区で2か所、徳富地区で2か所、沢原地区で1か所、吉井、仁堀東地区で3か所、以上でございます。

○委員長（大口浩志君） ありがとうございます。

ほかに何かございませんか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） ホースとか格納箱は地元負担何割でしたっけ。

○消防総務課長（金光正浩君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 金光課長。

○消防総務課長（金光正浩君） ホース格納箱については、標準消防用機械器具に該当しまして、80%となっております。

以上です。

○委員（松田 勲君） 80%を市が見るということやね。

○消防総務課長（金光正浩君） はい。

○委員（松田 勲君） 分かりました。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） 今回のとは違うんですけど、ハレカハーフカードの登録がもうずっとされて利用されてると思うんですけど、現在の最新情報で対象者はどの程度ぐらい、大体でいいんですけど、登録されて、利用率がどうなのかっていうのがまた分かれば教えてください。

○委員長（大口浩志君） 答えられますか。

○政策推進課長（山崎和枝君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 山崎課長。

○政策推進課長（山崎和枝君） 令和6年4月末の締めということでお聞きいただきたいと思います
っております。

まずもって、対象の方につきましては、繰り返すようですが、65歳以上の市民の方、それから
障害者手帳等をお持ちの方ということで、1万5,000人程度いらっしゃいます。4月末で
2,138件の方にお申込みをいただいております。高齢者の方が1,928件、障害者の方が210件
で、高齢者の方の割合からいたしますと、13%程度のお申込みをいただいております。

なお、岡山市の動向について、昨日たまたまお聞きすることがありまして、大体今同じぐら
い、13%とお聞きしましたので、赤磐市といたしましては、まだ始まってから数か月しかたっ
ていないんですけれども、岡山市のレベルに近づいてきている状況でございます。

赤磐市の中でも、旧の山陽町、赤坂町、熊山町、吉井町の全てのエリアの方々からお申込み
をいただいている状況ではございます。

簡単ですが、以上です。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○委員（松田 勲君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかに執行部、委員からございましたら。

安藤副委員長。

○副委員長（安藤利博君） 秘書広報課ですけど、実は市長が3月議会のとき議会をちょっと
前倒ししてチェコに行かれたと思うんですけど、市長の予定のところでは17日から22日まで
チェコ共和国へ出張と載ってるんですけど、ホームページの市政日誌の令和6年3月、そこには
それに関したことが載ってないんです。だから、議員はチェコに行かれたことを御存じかと思
いますけど、市民の方は何で3月議会が早くなったのかな、市長どうしたんかなということを
疑問に思われてると思うんで、これは何か市政日誌に載つけられない、その辺は何か事情があ
ったんでしょうか、当然載せるべきだと思っていたんですけど。

○秘書広報課長（小引千賀君） 委員長。

○委員長（大口浩志君） 小引課長。

○秘書広報課長（小引千賀君） 市長の日程には議会でも御説明させていただいたように日程
を載せさせていただいておりましたが、こちらの業務につきましては吉井川土地改良区の役員
としての業務ということで、市の市長としての業務ではございませんので、市政日誌で詳しく
内容というのを説明させていただいてないということになります。

○委員長（大口浩志君） よろしいですか。

○副委員長（安藤利博君） はい。

○委員長（大口浩志君） ほかにはございませんね。

執行部も委員もよろしいですね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（大口浩志君） その他についてももうないようですので、以上をもちまして総務常任委員会を閉会といたします。

午前11時13分 閉会